

学校コード F140310110712

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

注2

第一薬科大学大学院

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人都築学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局

職名・氏名

キョウムカチョウ カマウチ シンヤ
教務課長 鎌内 慎也

電話番号

092-541-0161

（夜間）

092-541-0161

e-mail

kvomukatyo@daiichi-cps.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

第一薬科大学大学院

＜薬学研究科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人都築学園

(2) 大 学 名

第一薬科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒815-8511

福岡県福岡市南区玉川町22番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツヅキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
学 長	(ツヅキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
研 究 科 長	(マツモト キンゾウ) 松本 欣三 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学研究科 薬学専攻 博士(薬学)	薬学関係	4 年	2 人	年次 人	8 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	2人 - 人 (-) [-]	2人 - 人 (-) [-]	2人 - 人 (-) [-]	2人 - 人 (-) [-]	0.5 倍	一 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A							0.5		0.5				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	1 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	1 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()			[] ()	1 [-] (-)	2 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	1 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	2 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学研究科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1				
	漢方薬特論	1前	1			2	1				
	統合医療特論	1後	1			4					
	大学院特別講義	1	1			8					
	薬学演習	1～4	4			14	2				
	課題研究	1～4	18			17	9	2			
	小計(6科目)	—	26	—	—	17	9	2	—	—	
基礎薬学領域科目	創薬化学特論	1前		1		1					
	分子薬理学特論	1前		1		1	1				
	医薬機器分析学特論	1後		1		2		1			
	天然物創薬化学特論	2前		1		1					
	代謝制御学特論	2前		1		1	1				
	分子病態解析学特論	2後		1		1	1				
	生体物理化学特論	2後		1			2				
	小計(7科目)	—	—	7	—	7	5	1	—	—	
臨床薬学領域科目	臨床衛生薬学特論	1前		1		1	1				
	臨床生薬学特論	1前		1		1					
	臨床応用薬理学特論	1後		1		1					
	臨床薬物治療学特論	1後		1		1		1			
	臨床薬剤設計学特論	2前		1		1	1				
	臨床薬物動態学特論	2前		1		1					
	臨床薬物送達学特論	2後		1		1					
	地域医療薬学特論	2後		1		2	1				
	小計(8科目)	—	—	8	—	9	3	1			
合計(21科目)			—	26	15	—	17	9	2	—	—
卒業要件及び履修方法											
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。課題研究の口頭発表を経て、提出された学位論文の所定の審査を受け、合格したものを修了(卒業)と認める。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1				
	漢方薬特論	1前	1			2	1				
	統合医療特論	1後	1			4					
	大学院特別講義	1	1			7	0				
	薬学演習	1～4	4			16	0				
	課題研究	1～4	18			21	4	1			
	小計(6科目)	—	26	—	—	21	4	1	—	—	
基礎薬学領域科目	創薬化学特論(未開講)	1前		1		1					
	分子薬理学特論(未開講)	1前		1		1	1				
	医薬機器分析学特論(未開講)	1後		1		1	1	0			
	天然物創薬化学特論(未開講)	2前		1		1					
	代謝制御学特論(未開講)	2前		1		1	1				
	分子病態解析学特論(未開講)	2後		1		2	0				
	生体物理化学特論(未開講)	2後		1		2	0				
	小計(7科目)	—	—	7	—	9	3	0	—	—	
臨床薬学領域科目	臨床衛生薬学特論(未開講)	1前		1		1	0				
	臨床生薬学特論(未開講)	1前		1		1					
	臨床応用薬理学特論	1後		1		1					
	臨床薬物治療学特論(未開講)	1後		1		1		1			
	臨床薬剤設計学特論(未開講)	2前		1		2	0				
	臨床薬物動態学特論	2前		1		1					
	臨床薬物送達学特論(未開講)	2後		1		1					
	地域医療薬学特論	2後		1		3	0				
	小計(8科目)	—	—	8	—	11	0	1			
合計(21科目)			—	26	15	—	21	4	1	—	—
卒業要件及び履修方法											
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。課題研究の口頭発表を経て、提出された学位論文の所定の審査を受け、合格したものを修了(卒業)と認める。											

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1				
	漢方薬特論	1前	1			2	1				
	統合医療特論	1後	1			4					
	大学院特別講義	1	1			7	1				
	薬学演習	1～4	4			13	3				
	課題研究	1～4	18			16	9	2			
	小計(6科目)	—	26	—	—	16	9	2	—	—	
基礎薬学領域科目	創薬化学特論(未開講)	1前		1		1					
	分子薬理学特論(未開講)	1前		1		1	1				
	医薬機器分析学特論	1後		1		2		1			
	天然物創薬化学特論	2前		1		1					
	代謝制御学特論	2前		1		1	1				
	分子病態解析学特論	2後		1		1	1				
	生体物理化学特論	2後		1			2				
	小計(7科目)	—	—	7	—	7	5	1	—	—	
臨床薬学領域科目	臨床衛生薬学特論(未開講)	1前		1			1				
	臨床生薬学特論(未開講)	1前		1		1					
	臨床応用薬理学特論	1後		1		1					
	臨床薬物治療学特論(未開講)	1後		1		1		1			
	臨床薬剤設計学特論	2前		1		1	1				
	臨床薬物動態学特論	2前		1		1					
	臨床薬物送達学特論	2後		1		1					
	地域医療薬学特論	2後		1		2	1				
	小計(8科目)	—	—	8	—	8	3	1			
合計(21科目)		—	26	15	—	16	9	2	—	—	
卒業要件及び履修方法											
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。課題研究の口頭発表を経て、提出された学位論文の所定の審査を受け、合格したものを修了(卒業)と認める。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・戸田教授就任辞退により、副田准教授に変更（令和3年度AC教員審査中）。
- ・専任教員の就任辞退により、「大学院特別講義」の配置を「教授8」から「教授7、准教授1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「薬学演習」の配置を「教授14、准教授2」から「教授13、准教授3」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「課題研究」の配置を「教授17、准教授9、講師2」から「教授16、准教授9、講師2」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により、「臨床衛生薬学特論」の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。

【令和4年度】

- ・原口教授の退職により、藤井准教授に変更（令和4年度AC教員審査済）。
- ・専任教員の昇任により、「大学院特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「薬学演習」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授3」から「教授16」「准教授0」に変更。
- ・専任教員の退職及び昇任により、「課題研究」の専任教員等の配置を「教授16」「准教授9」「講師2」から「教授21」「准教授4」「講師1」に変更。
- ・専任教員の退職及び昇任により、「医薬機器分析学特論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授0」「講師1」から「教授1」「准教授1」「講師0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「分子病態解析学特論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「生体物理化学特論」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授2」から「教授2」「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「臨床衛生薬学特論」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「臨床薬剤設計学特論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「地域医療薬学特論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授3」「准教授0」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
6 科目	15 科目	0 科目	21 科目	6 科目 [0]	15 科目 [0]	0 科目 [0]	21 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{21} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	701㎡を運用財産へ用途変更し、310㎡を職員駐車場を使用者を限定しない駐車場として利用するため、運用財産へ用途変更し、変更が生じた。(4)			
	校 舎 敷 地	17,474 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	17,474 ㎡				
	運動場用地	35,354 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	35,354 ㎡				
	小 計	52,828 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	52,828 ㎡				
	そ の 他	3,383 2,372 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,383 2,372 ㎡				
	合 計	56,211 55,200 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	56,211 55,200 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	名称：学校法人都築学園福岡第一高等学校と共用 収容定員：2,280人 面積基準：10,560㎡			
		22,122 ㎡ (22,122 ㎡)	509 ㎡ (509 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	22,631 ㎡ (22,631 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		28 室	1 室	14 室	4 室 (補助職員 1 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		薬学研究科			19 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕冊	学術雑誌 〔うち外国書〕種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での算出不能のため、看護学部専用を除く大学全体の数	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕点						
	薬学研究科	80,935 [34,534] (80,935 [34,534])	1,044 [467] (1,044 [467])	1,966 [1,966] (1,966 [1,966])	124 124	0 0	0 0		
	計	80,935 [34,534] (80,935 [34,534])	1,044 [467] (1,044 [467])	1,966 [1,966] (1,966 [1,966])	124 124	0 0	0 0		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		図書館の閲覧座席数を増やしたため修正した。(4) 収納可能冊数に誤りがあったため修正した。(4)	
		1,233 ㎡		280 285		405,722 83,790			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		2,808 ㎡		－					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究科単位での算出不能のため、薬学部との合計。 図書購入費には、電子ジャーナル・データベース使用料を含む。 研究費等、図書・設備購入費に誤りがあったため修正した。(4)
		教員 1 人当り研究費等	783 400 千円	783 400 千円	図書購入費	28,318 21,500 千円	1,297 21,500 千円	1,297 21,500 千円	
		共 同 研 究 費 等	6,347 0 千円	6,347 0 千円	設備購入費	223,586 0 千	40,943 0 千	40,943 0 千	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,300 千円	900 千円	900 千円	900 千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	第 一 薬 科 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部	-	183	-	1,048	-	0.86	0.75	-	昭和35	-	
薬学科	6	113	-	678	学士 (薬学)	1.00	0.95	-	平成18	福岡県福岡市南 区玉川町22-1	
漢方薬学科	6	40	-	340	学士 (薬学)	0.64	0.57	-	平成28	同上	
薬科学科	4	30	-	30	学士 (薬科学)	0.23	0.23	-	令和4	同上	
看護学部	-	80	-	240	-	1.00	1.05	-	令和2	-	
看護学科	4	80	-	240	学士 (看護学)	1.00	1.05	-	令和2	福岡県福岡市南 区玉川町22-1	
大学院	-	2	-	4	-	0.50	0.50	-	令和3	-	
薬学研究科薬学専攻	4	2	-	4	博士 (薬学)	0.50	0.50	-	令和3	福岡県福岡市南 区玉川町22-1	
大学全体	-	265	-	1,292	-	-	-	-	-	-	

令和4年
定員変更 (△20)

大 学 の 名 称	日 本 薬 科 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部	-	360	-	1,940	-	0.88	0.70	-	平成16	-	
薬学科	6	240	-	1,520	学士 (薬学)	0.87	0.69	-	平成23	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	令和3年 定員変更 (△20)
医療ビジネス薬科学科	4	120	-	420	学士 (医療ビジネス薬科学)	0.87	0.71	-	平成23	東京都文京区湯島3-15-9	令和3年 定員変更 (30)
大学院	-	3	-	9	-	1.66	0.66	-	令和2	-	
薬学研究科薬学専攻	4	3	-	9	博士 (薬学)	1.66	0.66	-	令和2	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	
大学全体	-	363	-	1,949	-	-	-	-	-	-	

大 学 の 名 称	神 戸 医 療 未 来 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
人間社会部	-	400	-	1,600	-	0.65	0.40	-	平成12	-	
未来社会学科	4	120	-	480	学士 (社会福祉学)	0.41	0.20	-	平成25	兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5	令和2年 定員変更 (△50)
健康スポーツコミュニケーション学科	4	180	-	720	学士 (健康福祉学)	0.67	0.44	-	平成23	同上	令和2年 定員変更 (50) 令和3年度 入学定員増 (30)
経営データ・ビジネス学科	4	100	-	400	学士 (社会福祉学)	0.93	0.56	-	平成23	大阪府大阪市天王寺区島が辻2-1-3	令和3年 定員変更 (△30)
大学全体	-	400	-	1,600	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科薬学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 欣三 <令和3年4月> 薬学博士
		統合医療特論 漢方薬特論 研究倫理特論 大学院特別講義 課題研究
専	教授	戸田 品久 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床衛生薬学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	原口 浩一 <令和3年4月> 薬学博士
		医薬機器分析学特論 研究倫理特論 課題研究
専	教授	入倉 充 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物動態学特論 統合医療特論 薬学演習 課題研究
専	教授	村山 恵子 <令和3年4月> 薬学博士
		代謝制御学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	有竹 浩介 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床応用薬理学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	小山 進 <令和3年4月> 博士(医学)
		臨床薬物治療学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	窪田 敏夫 <令和3年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	長島 史裕 <令和3年4月> 博士(薬学)
		天然物創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	小松 生明 <令和3年4月> 博士(農学)
		分子薬理学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	門口 泰也 <令和3年4月> 博士(薬学)
		創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	有馬 英俊 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物送達学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	森永 紀 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床生薬学特論 漢方薬特論 薬学演習 課題研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 欣三 <令和3年4月> 薬学博士
		統合医療特論 漢方薬特論 研究倫理特論 大学院特別講義 課題研究
専	教授	原口 浩一 <令和3年4月> 薬学博士
		医薬機器分析学特論 研究倫理特論 課題研究
専	教授	入倉 充 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物動態学特論 統合医療特論 薬学演習 課題研究
専	教授	村山 恵子 <令和3年4月> 薬学博士
		代謝制御学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	有竹 浩介 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床応用薬理学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	小山 進 <令和3年4月> 博士(医学)
		臨床薬物治療学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	窪田 敏夫 <令和3年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	長島 史裕 <令和3年4月> 博士(薬学)
		天然物創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	小松 生明 <令和3年4月> 博士(農学)
		分子薬理学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	門口 泰也 <令和3年4月> 博士(薬学)
		創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	有馬 英俊 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物送達学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	森永 紀 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床生薬学特論 漢方薬特論 薬学演習 課題研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 欣三 <令和3年4月> 薬学博士
		統合医療特論 漢方薬特論 研究倫理特論 大学院特別講義 課題研究
専	教授	入倉 充 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物動態学特論 統合医療特論 薬学演習 課題研究
専	教授	村山 恵子 <令和3年4月> 薬学博士
		代謝制御学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	有竹 浩介 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床応用薬理学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	小山 進 <令和3年4月> 博士(医学)
		臨床薬物治療学特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	窪田 敏夫 <令和3年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	長島 史裕 <令和3年4月> 博士(薬学)
		天然物創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	小松 生明 <令和3年4月> 博士(農学)
		分子薬理学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	門口 泰也 <令和3年4月> 博士(薬学)
		創薬化学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	有馬 英俊 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物送達学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	森永 紀 <令和3年4月> 博士(薬学)
		臨床生薬学特論 漢方薬特論 薬学演習 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	藤井 清水 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	藤井 清水 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	藤井 清水 <令和3年4月> 博士（薬学）
		医薬機器分析学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			医薬機器分析学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			医薬機器分析学特論 研究倫理特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	今井 輝子 <令和3年4月> 薬学博士	専	教授	今井 輝子 <令和3年4月> 薬学博士	専	教授	今井 輝子 <令和3年4月> 薬学博士
		臨床薬剤設計学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			臨床薬剤設計学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			臨床薬剤設計学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	教授	炬口 眞理子 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	炬口 眞理子 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	炬口 眞理子 <令和3年4月> 博士（薬学）
		分子病態解析学特論 薬学演習 課題研究			分子病態解析学特論 薬学演習 課題研究			分子病態解析学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	首藤 英樹 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	首藤 英樹 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	首藤 英樹 <令和3年4月> 博士（薬学）
		地域医療薬学特論 課題研究			地域医療薬学特論 課題研究			地域医療薬学特論 課題研究
専	准教授	田畠 健治 <令和3年4月> 博士（工学）	専	准教授	田畠 健治 <令和3年4月> 博士（工学）	専	教授	田畠 健治 <令和3年4月> 博士（工学）
		生体物理化学特論 薬学演習 課題研究			生体物理化学特論 薬学演習 課題研究			生体物理化学特論 薬学演習 課題研究
専	准教授	安川 圭司 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	安川 圭司 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	安川 圭司 <令和3年4月> 博士（薬学）
		生体物理化学特論 薬学演習 課題研究			生体物理化学特論 薬学演習 課題研究			生体物理化学特論 薬学演習 課題研究
専	准教授	廣村 信 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	廣村 信 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	廣村 信 <令和3年4月> 博士（薬学）
		代謝制御学特論 課題研究			代謝制御学特論 課題研究			代謝制御学特論 課題研究
専	准教授	小川 和加野 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	小川 和加野 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	小川 和加野 <令和3年4月> 博士（薬学）
		分子病態解析学特論 研究倫理特論 課題研究			分子病態解析学特論 研究倫理特論 課題研究			分子病態解析学特論 研究倫理特論 課題研究
専	准教授	大光 正男 <令和3年4月> 博士（医学）	専	准教授	大光 正男 <令和3年4月> 博士（医学）	専	教授	大光 正男 <令和3年4月> 博士（医学）
		地域医療薬学特論 課題研究			地域医療薬学特論 課題研究			地域医療薬学特論 課題研究
専	准教授	中原 広道 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	中原 広道 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	中原 広道 <令和3年4月> 博士（薬学）
		臨床薬剤設計学特論 課題研究			臨床薬剤設計学特論 課題研究			臨床薬剤設計学特論 課題研究
専	准教授	副田 二三夫 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	副田 二三夫 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	教授	副田 二三夫 <令和3年4月> 博士（薬学）
		臨床衛生薬学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			臨床衛生薬学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究			臨床衛生薬学特論 大学院特別講義 薬学演習 課題研究
専	准教授	高村 雄策 <令和3年4月> 博士（医学）	専	准教授	高村 雄策 <令和3年4月> 博士（医学）	専	准教授	高村 雄策 <令和3年4月> 博士（医学）
		分子薬理学特論 課題研究			分子薬理学特論 課題研究			分子薬理学特論 課題研究
専	准教授	久保山 友晴 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	久保山 友晴 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	准教授	久保山 友晴 <令和3年4月> 博士（薬学）
		漢方薬特論 課題研究			漢方薬特論 課題研究			漢方薬特論 課題研究
専	講師	藤井 由希子 <令和3年4月> 博士（社会健康医学）	専	講師	藤井 由希子 <令和3年4月> 博士（社会健康医学）	専	准教授	藤井 由希子 <令和3年4月> 博士（社会健康医学）
		医薬機器分析学特論 課題研究			医薬機器分析学特論 課題研究			研究倫理特論 医薬機器分析学特論 課題研究
専	講師	山脇 洋輔 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	講師	山脇 洋輔 <令和3年4月> 博士（薬学）	専	講師	山脇 洋輔 <令和3年4月> 博士（薬学）
		臨床薬物治療学特論 課題研究			臨床薬物治療学特論 課題研究			臨床薬物治療学特論 課題研究

（注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・戸田教授就任辞退により、一部科目の担当を副田准教授に変更（ＡＣ教員審査中）。

【令和4年度】

- ・原口教授の退職により、一部科目の担当を藤井准教授に変更。（令和4年2月教員審査済）
- ・田島准教授の昇任により、教授に変更。
- ・安川准教授の昇任により、教授に変更。
- ・小川准教授の昇任により、教授に変更。
- ・大光准教授の昇任により、教授に変更。
- ・中原准教授の昇任により、教授に変更。
- ・副田准教授の昇任により、教授に変更。
- ・藤井講師の昇任により、准教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ー② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B´)
17	9	2	0	28	0	21	4	1	0	26	0
(16)	(9)	(2)	(0)	(27)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
25	3	0				25	1	0			
(24)	(3)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D´)
21	4	1	0	26	0	21	4	1	0	26	0
[4]	[Δ5]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[0]	[4]	[Δ5]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
25	1	0				25	1	0			
[0]	[Δ2]	[0]				[0]	[Δ2]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{28} = \boxed{92.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{26} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	戸田 晶久	R3.3	選択	臨床衛生薬学特論	①	R3.3 定年退職に合わせ、就任辞退（3）						
				必修	大学院特別講義	①							
				必修	薬学演習	①							
				必修	課題研究	①							
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	原 口 浩一	R4.3	選択	医薬機器分析学特論	①	R4.3 自己都合により辞任 (4)						
				必修	研究倫理特論	①							
				必修	課題研究	①							
合 計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
2	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{28} = \boxed{7.14} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合 計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員1人が退職となったが、専任教員による科目分担で対応した。
 学生に対しては、学生便覧、年度当初のガイダンスにより周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	学修成果の評価方針については、カリキュラム・ポリシーにも明記すること。	遵守事項 カリキュラム・ポリシーに「各科目の学修成果については、シラバスに示した評価方法及び評価基準に基づき厳格に評価する。」と明記した。	履行済
認 可 時 (令和2年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項 学生に対しては、入学時にガイダンスを実施し、学位取得までに満たすべき要件や教育研究に関する支援体制等について十分な説明を行った。令和3年度の授業科目については、設置計画に基づき開講している。設置計画の確実な履行と教育研究活動の充実・向上を図るため、学生を指導する教員には研究指導経費を配分し、学生に対する教育研究を支援している。	履行中 設置計画を確実に履行し、計画的に教育研究活動を進めていく。引き続き、教育研究環境の拡充に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科薬学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 第一薬科大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）・スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として月1回開催している。 c 委員会の審議事項等 ・FD・SDに関する研修会及び講習会に関する事項 ・「学生授業評価アンケート」に関する事項 ・「教員相互授業参観」に関する事項 ・「教員による自己評価」に関する事項 ・「学生と教職員懇談」に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 ・FD・SD委員会主催講習会 ・教員相互の授業参観 ・新任教員のための研修会 等 ・学生と教職員懇談会の開催 b 実施方法 ・学内及び外部講師によるFD・SD委員会主催講習会の開催している。 ・前期及び後期に教員相互の授業参観を実施している。 ・前期及び後期における「学生授業評価アンケート」を実施している。 ・前期及び後期に「学生と教職員懇談会」を実施している。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・学年始めに新任教員対象研修を行う。 ・「学生授業評価アンケート」は前期及び後期の2回、授業終了時を利用し全科目において実施している。 ・教員相互の授業参観は前期及び後期に実施期間を決め実施している。 ・「学生と教職員懇談会」は、あらかじめ大学に対する意見を聴取したことに対し回答する形で実施した。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・「学生授業評価アンケート」及び「教員相互授業参観」の結果は、担当教員にフィードバックするとともに、「FD・SD報告書」として全教職員に周知している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・原則として、前期・後期それぞれ期末に実施している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・調査結果を各教員に通知している。

第一薬科大学 ファカルティ・ディベロップメント（FD）・スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、第一薬科大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）・スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（組織）

第2条 本委員会は、委員長並びに委員及び事務担当から構成される。

2 前項の委員長及び委員等は、学長がこれを指名する。

（会議及び委員長）

第3条 本委員会に委員長を置く。

2 委員長は必要に応じて委員会を招集し、議長となる。

3 委員会は全委員の2分の1以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛成をもって議決するものとする。

（審議事項）

第4条 本委員会は、次の事項を審議する。

（1）教育活動の組織的改善方策の計画・実施に関する事項

（2）ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）に関する研究会、研修会の計画・実施に関する事項

（3）学生による授業評価の実施に関する事項

（4）その他、FD及びSD活動の推進に関する事項

（事務）

第5条 本委員会に関する事務は、教務課において行う。

（規程の改廃）

第6条 本規程の改廃は、教授会の意見を聴いて学長が定める。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日より施行する。

2 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

3 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

4 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

5 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

6 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

7 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

アドミッション・ポリシー及び学生募集要項に基づき入学者選抜試験を実施した結果、今年度は社会人学生1人が入学した。未選択の選択科目を除いて計画どおりの授業科目を開講しており、授業は対面で行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月 公開予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年度受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。